

## 第8回江南市市民協働・市民活動推進協議会 会議要旨

会議名：第8回江南市市民協働・市民活動推進協議会

開催日時：令和5年2月10日（月）午前10時から午前11時40分まで

場所：江南市役所 2階 大会議室

委員：出席委員5名

伊藤 由香（学識経験者）

佐藤 正之（学識経験者）

坂口 悦子（市民活動団体関係者）

宮道 末利子（市民活動団体関係者）

伊藤 光洋（江南市社会福祉協議会）

事務局：矢橋 尚子（地方創生推進課長）

佐久間 秀和（地方創生推進課 地域協働グループリーダー）

吉井 陽一（地方創生推進課 地域協働グループ）

資料1：令和5年度江南市地域まちづくり補助事業 採択事業一覧

資料2：江南市地域交流センターについて

議題	(1) 地域まちづくり補助事業について (2) 江南市地域交流センターについて
----	--

はじめに、

### 会長挨拶

急遽欠席者が重なり残念ではありますが、今回は1月22日に公開で審査会を行いました「江南市地域まちづくり補助事業」の採択事業と、4月から開館する交流センターの進捗状況について、委員の皆さまに協議いただきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

## 議題

### (1) 地域まちづくり補助事業について

○事務局から、採択事業について説明がありました。

会長	今回は、公開審査時において連携コースが1件と展開コースが6件の応募でありましたが、展開コースは、1件書類の提出に至らなかったもの、また、もう1件書類審査後に取り下げをなされましたので、本来はもう少し多くの活用希望がありました。
委員	公開審査会前に書類の提出に至らなかったものや書類審査後に取り下げられたケースについて、どのような経緯で審査まで至らなかったのでしょうか。
事務局	相談会や書類審査の中で、実施する事業を具体化していく中で、例えば会場確保などの調整が困難であったため、ご辞退されるという内容でした。
委員	<p>相談会や書類審査の中で、団体がやりたいことと市の補助事業のルールにミスマッチが出ると、そのあたりの調整が団体のほうで難しく断念してしまうのではないかと思います。</p> <p>補助金も税金から出ていますので、補助する経費について市の考え方がある一方で、市民の皆さんはなぜ自分たちのやりたいことができなのかというミスマッチについて、まちづくり補助事業という枠組みでその趣旨や目的をくんでいかないと審査としては通りにくくなるのではないかと思います。</p> <p>ですので、事業内容そのものというよりは、やりたいことをまちづくり補助事業として目的を伝え、経費などの調整をすることが新たにチャレンジされる方は大変なのかも知れません。</p>
会長	事業の目的をまちづくり補助金の枠組みに合った形にするというのは確かに難しいことで、相談員さんの方も大変なことと思います。複数年目の団体さんはその点、慣れてきているのではないのでしょうか。
事務局	話題が少し変わりますが、来年度に募集するまちづくり補助金について現在、何人以上の団体という規定はないのですが、4月から新たに開館する地域交流センターでは登録団体を5名以上の団体としており、これをまちづくり補助金にも反映させるかという点について、皆様のご意見をお聞かせいただけますでしょうか。
会長	事業を実施するにはある程度の人数は必要ではないかという視点と、団体の立ち上げ時から支援していくという考え方があり難しい話

	<p>題かと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>先程の補助金申請を断念する話題を考えると、団体間の人数が初めから多い場合、団体内での調整が難しいのではないのでしょうか。</p> <p>少人数であれば即断即決ができ、持続可能な活動をしていながらメンバーを増やしていけます。そこから始められるというのも今のまちづくり補助金の良いところではないかと考えます。</p>
委員	<p>それぞれの制度に応じて人数を定義すれば良く、個人的には人数はあまり関係がないと感じており、例えば金額も併せて考える、2人であれば5万円とか、制度を細かく分けていくというような。</p> <p>まちづくり補助事業という公共性は事前に説明しておいて担保する必要はありますが、そうした方が、いろいろな活動にチャレンジする方が出てくるのではないかと思います。</p>
委員	<p>初めて事業に取り組むということであれば少人数の方が始めやすいということはあるのかも知れませんが、現在複数年目の団体が多く、今後新たな団体に取り組んでもらわないと、こうした制度が縮小してしまうのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>難しいところですが、取りかかるところは少人数でも良いのではないのでしょうか。ただ、そこから団体が広がったり、繋がったりすることは大切だと思います。</p>
委員	<p>人数制限を設けたとしても、名前だけの参加になってしまうなどの懸念はあります。ただ少人数での活動には限界もあるかと思います。</p> <p>現在は10万円のコースが最も低い金額ですが、この先の検討事項として、審査基準なども考えないといけません。スタートアップとしてチラシを作る、繋がりを持つなどの活動をするために5万円のコースがあっても良いのではないかと考えます。そこから10万円のコースなどに発展していけるようなことを期待します。</p> <p>これまで採択されてきた団体さんが、今現在どのような状況であるかという話に及んだときに、活動が繋がっていないということがあれば、それは人数的な理由なのか、事業の内容や規模の問題であったのか、色々あると思いますが、せっかくできた団体が継続していく、これが理想であり、なかなか難しいことでもありますけれども、制度を調整していくと、支援できる団体も増えるかも知れません。</p>
会長	<p>色々な意見がありましたので、こうしたことも踏まえて次回以降、進めていってほしいと思います。</p>

## (2) 江南市地域交流センターについて

○事務局から、前回会議以降の江南市地域交流センターの開館に向けた状況について説明がありました。

委員	地域交流センターの会議室を利用した方は駐車場が何時間減額になるのですか。
事務局	調整中ではありますが、会議室の区分が2時間貸でありますので、出入りや手続きの時間を踏まえまして3時間分を減額することを考えております。
委員	遮断機が下りる形の駐車場ということで、ご高齢の方などはどのように対応してよいか迷われる方もあるが、これも地域交流センターで対応するのですか。
事務局	施設管理者は別に定めていますが、1階にはこの機能しか窓がありませんので、お問合せなどはあり得るのではないかと考えています。
委員	1階の駐車場に停められた方はそのまま1階に聞きに行ってしまうのかなと思います。
委員	オープンスペースの隣にある給湯設備も使用はフリーですか。
事務局	加熱など安全に配慮しなければならず、基本的には会議室利用者でお湯が必要になる場合の使用に限った想定をしています。自動販売機を設置しますので、どなたでも入れるスペースであることから、安全確保のため、通常はカバーなどをするというような運用になると考えています。
委員	オープンスペースと会議室は音が漏れたりすることはありませんか。
事務局	作業コーナーも含めた話になりますが、設計時に防音性について考慮をお願いしています。現在、具体的な予定があるものではありませんが、他の公共施設において、楽器の演奏などの目的で使用される例もあり、規模によっては完全に遮断できるかは断言できません。隣室に配慮した使用をお願いするか、用途を限定して許可していくのか、状況に応じて決めてまいります。
委員	施設外側のテラスは活用できますか。ガラス戸を開けてオープンスペースと一体で使うことも考えられるのではないのでしょうか。
事務局	テラスそのものは管理者が異なりますので貸出などは難しいと考えますが、駅前広場について、現在貸出について検討をしていますので、窓を開放した一体的な利用について可能性はあると考えています

委員	オープンスペースには図書館で借りた本を読む方や、学校帰りの学生の勉強する場にもなるのではないかと思います。他市の市役所でもフリースペースで子どもが勉強している。
事務局	図書館にも学習室など多数のスペースが設けられており、そちらを使われることが多いのではないかと考えていますが、オープンスペースをそのように使っていただくことも差し支えはありません。
委員	地域交流センターができることを市民へ周知していますか。
事務局	以前に広報紙で一度お知らせしています。その他、市民・協働ステーションを現在使われている方からの問い合わせもあり、都度ご案内をしています。今後は広報こうなん3月号で施設全体の特集を組んでお知らせしてまいります。
会長	徐々に施設について認知されるにつれ、運用開始時は色々と大変な点はあるかと思いますが、新しい施設で市民活動が活発になっていくことを期待します。

## その他

- 事務局から、3月に行う地域まちづくりフォーラムについて委員へ案内
- 事務局から、今後の推進協議会の予定について説明



# 令和5年度 江南市 地域まちづくり補助事業 採択事業一覧

江南市は、地域で活動する団体などが工夫を凝らして取り組む、地域をよくしていこうという事業に対して「江南市地域まちづくり補助金」を交付しています。

令和5年度の実施事業として採択された「地域まちづくり補助事業」を紹介します。

## 令和5年度 5事業

事業名	実施団体	事業内容
「みんな集まれ！」 ふれあいまちづくり	きらく会	小折町内の3地区の連携を深め、親子孫3世代の関わりから活力を創出することを目的に、子どもから高齢者まで幅広い年代層を対象とした様々なイベントを開催することで、地域住民同士のふれあいの場を提供します。
廃材活用プロジェクト	Little good	食品の廃材を使ったワークショップの開催、「コーヒーかすの活用法」の発信を通じて、生活の中から出る廃材を、活用できる「モノ」として意識を持ってもらい、SDGsをもっと身近に「ジブンゴト」としてとらえる機会を提供します。
SDGs ワークショップで 学ぼう！感じよう！ 考えよう！	えこすく (ecology school)	「SDGs」に親しむためのワークショップや観劇などを通じて、子どもたちが自分と環境・社会とのつながりに興味を持ち、視野を広げ、行動したいと思う機会を提供すると同時に、より多くの世代に「SDGs」について関心を持ってもらえることを目指します。
「こどもスイッチ」 ワークショップ 実施事業	こうなんこどもスイッチ	子ども達が「成功」や「自分だけの好き」を見つけることで、眠っている可能性を広げられるような、学校の学びに限らない幅広い体験機会を提供すると同時に、活動の発信により地域の大人が関心を持ち、運営や講師として関わる流れづくりを目指します。
地域とともに生きる 「自分探しの旅」 ＝つながれ☆がんばり ペアレンツ＝	KONAN 子育て委員会	子育て世代の悩みや不安を気軽にアウトプットする場や、女性たちのキャリアにまつわる悩みを相談する機会を設け、子育て中の皆さんが社会や家庭、自身に関する不安を緩和でき、それぞれの場で活躍できるきっかけになることを目指します。

## 江南市地域交流センターについて

(令和4年8月22日 第7回江南市市民協働・市民活動推進協議会以降)

令和4年9月1日 江南市地域交流センターの設置及び管理に関する条例  
提案 (26日原案可決、30日公布)

令和4年9月27日 江南市地域交流センター運営等業務委託  
公募型プロポーザル 公募開始

令和4年11月7日 江南市地域交流センター運営等業務委託  
公募型プロポーザル 候補者決定  
(株式会社船井アソシエイツ)

令和4年12月1日 江南市地域交流センター会議室  
登録団体 (※) 向け利用受付開始  
※ 区・町内会や、市民・協働ステーションの利用登録がある団体

令和4年12月12日 江南市布袋駅東複合公共施設の愛称を命名する権利  
を取得する事業者(ネーミングライツ・パートナー)  
決定 (松岡一産業株式会社、期間5年間)

施設全体の愛称 : toko<sup>+</sup>toko<sup>-</sup>labo (トコ・トコ・ラボ)  
「市民の皆様が“とことこ”と気軽に足を運んでいただけ  
るような施設になるように」という思いなどから命名

令和5年1月5日 江南市地域交流センター会議室 一般利用受付開始

令和5年2月～3月 江南市地域交流センター 運営準備作業

令和5年4月1日 江南市地域交流センター オープン

# 江南市地域交流センターの運営方針について

## 1. 江南市地域交流センターの運営方針について

### 江南市地域交流センター運営方針

江南市地域交流センターは、地域コミュニティ、市民活動団体、市民、行政、企業、教育機関など多様な主体が気軽に集い、対話し、行動する地域協働・地域交流の拠点として、地域資源の集約と発信や、協働・連携の担い手の発掘を行うとともに、様々な活動や交流を通じて、すべての人が生涯にわたり活躍できる場づくりをします。

また、その交流や、対話の中から、互いの思いに共感することにより地域課題の解決に向けた自発的な行動を促し、新たな活動を創出できる環境づくりにより、協働によるまちづくりを進め、将来にわたって活気と温もりのあふれる住み続けたいようなまちを目指します。

## 2. 現状と課題

急激な社会環境の変化や少子高齢化の進行、人口減少社会への転換、生活様式の多様化などを背景として、地域コミュニティの担い手の不足や地域とのつながりの希薄化、社会からの孤立化など地域課題はますます多様化・複雑化しています。

そうした中で、持続可能な地域社会を構築していくには、行政の限られた資源だけでは、その全てに対応することは困難であり、市民主体の地域づくりを進めるとともに、多様な主体による協働・連携が不可欠となっています。

市民協働の促進のため、市が平成 20 年度に設置した市民・協働ステーションは、これまで、主に市民活動団体や区・町内会等の活動の拠点としての役割を果たしており、その拠点を活用して市内で活動する市民活動団体等は、様々な分野で地域貢献活動を続けてきました。

しかしながら、近年、定年退職後も仕事を続けられる方などの増加に伴い、団体構成員の高齢化や新たな担い手の不足により活動規模を縮小する団体や活動の継続が困難となる団体も表れてきています。

## 3. 江南市地域交流センターのあり方

これまで、協働の担い手の中心は地域コミュニティや市民活動団体で、その手法の多くは行政との協働型事業でした。その一方で、企業や大学などの多様な主体がそれぞれの特長を活かして社会貢献活動を行うことで地域課題の解決に寄与しており、



協働・連携の担い手が多様化してきています。

こうしたことから、今後は、地域コミュニティや市民活動団体との協働型事業も活かしつつ、様々な担い手がそれぞれの特徴を活かしながら協働・連携する地域協働が必要です。

江南市地域交流センターは、布袋駅東複合公共施設内に設置され、すべての人が安心して気軽に立ち寄れる市民の憩いの場として、施設内に併設される図書館や保健センター、子育て支援センター、また、隣接する駅から、多世代、多様な人の流れが予想されます。

地域協働のさらなる促進のため、こうした新たなつながりが生まれやすい利点を活かして、市民活動団体や区・町内会等の活動に限らず、趣味やサークル、健康づくり、就業支援や企業活動に至るまで幅広い分野にわたる活動を行う場の提供により、自分らしい生き方の実現をサポートし、それぞれの活動をつないでいくことで、新たな連携、協働、発想の創出につながる仕組みを作っていく必要があります。

また、いつでも気軽に相談できる窓口で専門スタッフを配置し、一人ひとりの思いの共有や対話の場づくりを行い、その思いを活かした活動の実現をサポートしていくことが大切です。

そうした活動を持続・活性化させるため、地域課題を共有し、課題解決に向けた人材の発掘・育成につなげることができる、地域資源の集約と発信、交流の拠点の整備は、持続可能な地域社会の構築に重要な意義を持つものです。

#### 4. 今後の方向性

##### 方向性① 活動・交流の促進

多世代・多様な人々が、江南市地域交流センターを訪れ、市民活動や地域の活動、サークルや企業活動など様々な活動や交流を通じて、一人ひとりが生涯にわたって活躍できる場を提供します。また、その活動同士をつなぎ、新たな交流の機会を設け、対話の中から、互いの活動や思いに共感することにより、地域課題の解決に向けた自発的な行動を促し、新たな活動を創出できる環境づくりをします。

##### 方向性② 協働・連携の担い手の発掘及び活動の支援

公益的・社会的な活動を行う企業・教育機関・地域で活躍する団体や地域コミュニティ、また、様々なスキルを持った人材などの地域資源の集約と発信をするとともに、協働・連携の担い手の発掘を積極的に進めます。

また、多様な主体がつながる仕組みづくりや、活動に向けての相談体制を整えることで協働・連携による活動を支援するとともに、継続的な活動に向け、各種補助金などの情報提供やスキルアップのためのセミナーの開催等それぞれのニーズに合わせた活動支援を行います。

### 方向性③ ふれあいや憩いの場

普段から地域のふれあいの場として住民に親しまれ、愛着のある施設として、憩いの場となるよう、新たな人の交流やつながりが生まれる地域に開かれた空間としていきます。

また、市民活動やボランティア活動などの地域の活動に関する情報に触れる機会を作ることで新たな気づきにつながるきっかけづくりをします。

### 方向性④ だれにでも安心・快適な施設

地域に身近な施設として、年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらずだれでも安心・快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインを導入し、様々なライフスタイルに対応した施設としていきます。



## 本運営方針を念頭に、地域交流センターを拠点とした事業を展開

### ① 市民活動等支援業務

… 市民団体等の活動に関する相談等支援

### ② 地域人財の育成業務

… 講座開催など定期的な研修機会の提供、若い世代の地域活動参画に係る企画実施

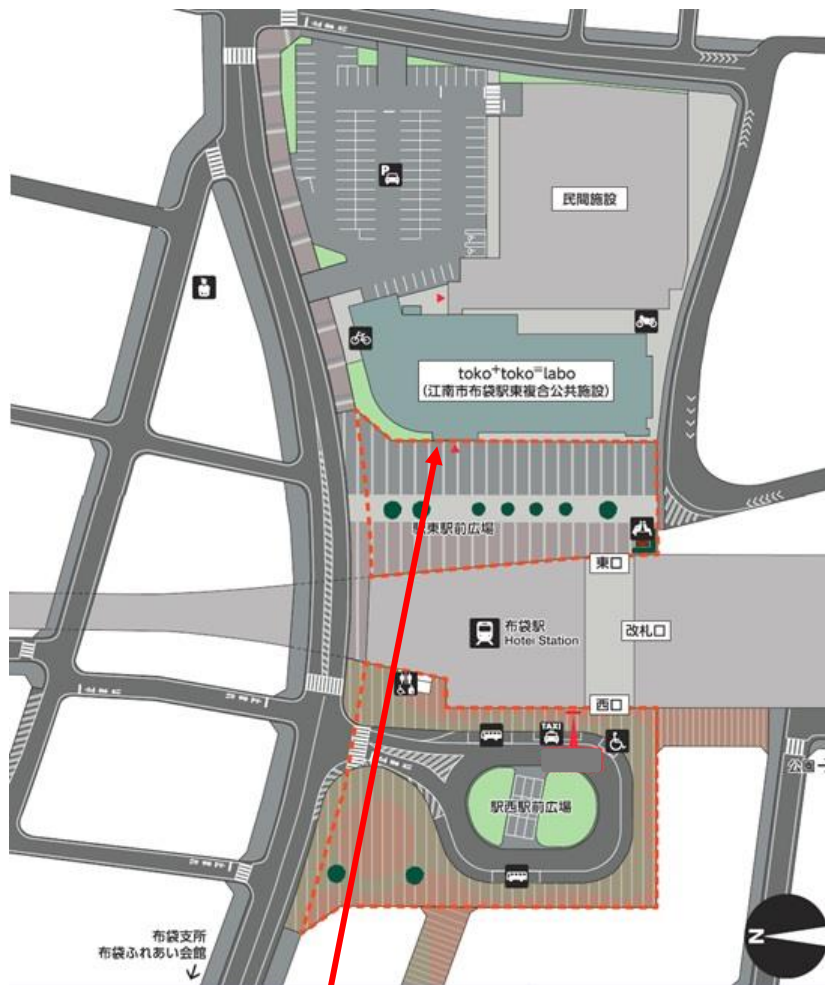
### ③ 交流機会の創出業務

… 施設内他機能（図書館・子育て機能など）との連携、公民連携、企業及び教育機関との関係構築による、イベント実施など

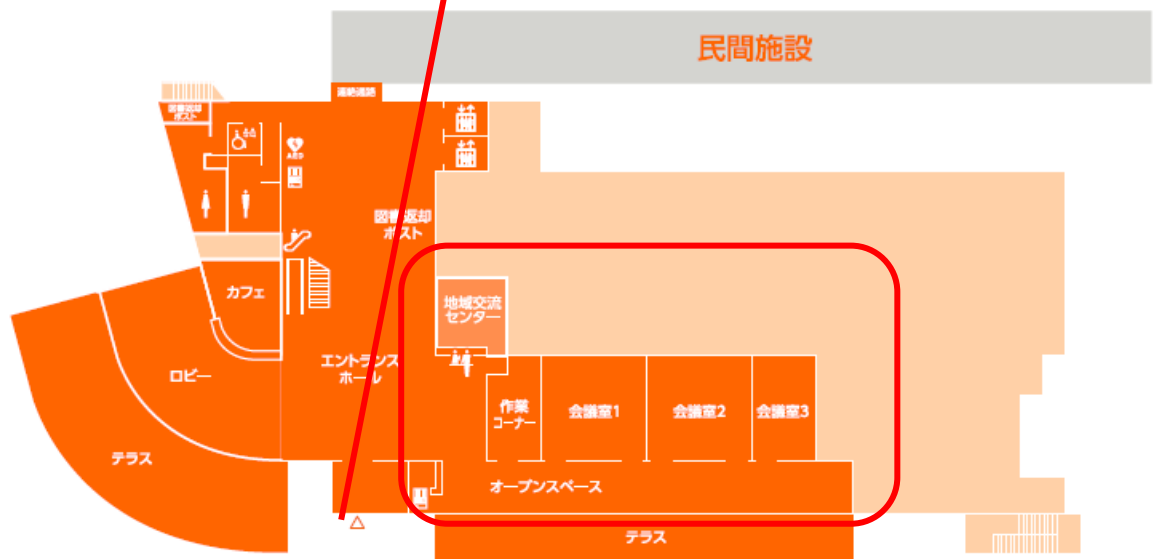
### ④ 情報の収集発信業務

… ホームページ、SNS、施設内デジタルサイネージ等での団体情報、イベント情報等の発信

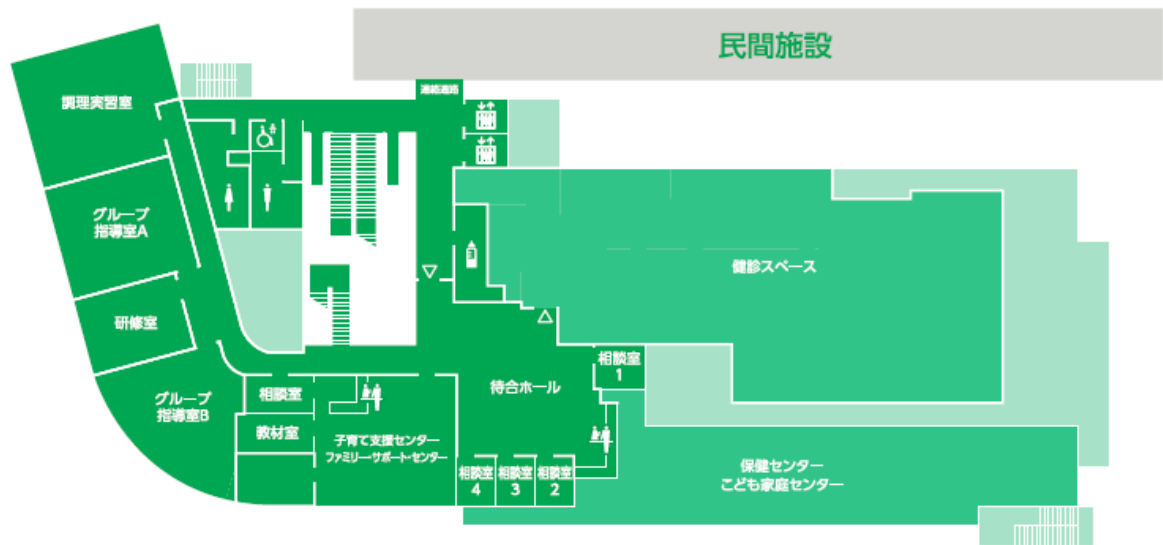
◎ 施設周辺及びフロアマップ



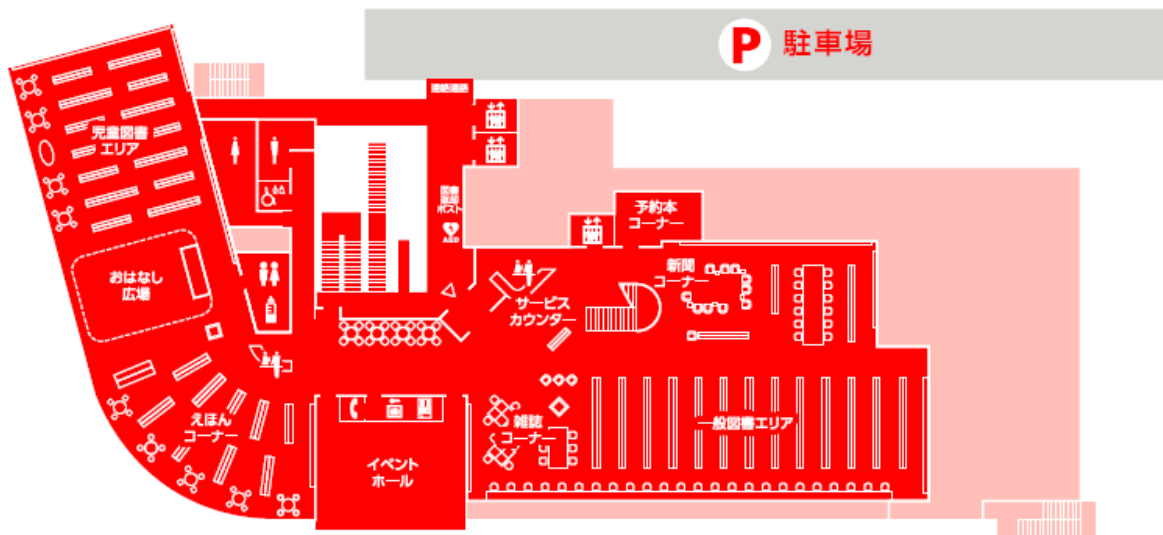
1 階



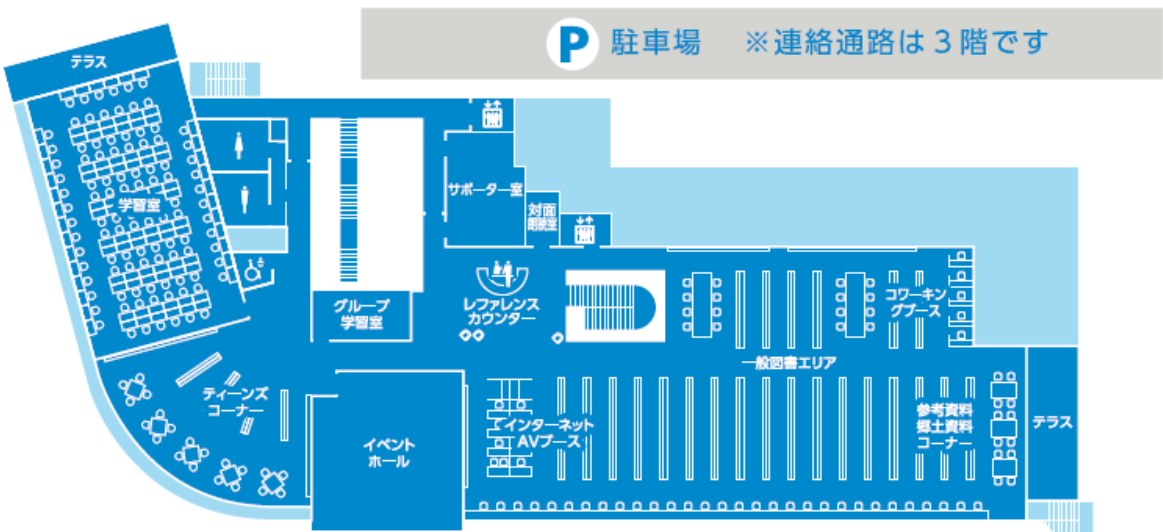
2階



3階



4階



## 地域交流センター会議室の利用予約を開始します

～ 市役所西分庁舎の市民・協働ステーション利用は令和5年3月末まで ～



市ホームページQRコード



令和5年4月1日（土）に開館する、布袋駅東複合公共施設の1階に、地域協働、地域活動の拠点として、「江南市地域交流センター」がオープンします。有料の会議室が3室、印刷機などを備えた作業コーナー、話し合いの場として気軽に利用できるオープンスペースがあります。

会議室は予約制で、区・町内会や、市民・協働ステーションの利用登録がある団体は令和4年12月1日（木）から、予約受付を開始します（一般利用は令和5年1月5日（木）から受付開始）。

施設の概要や利用方法などは裏面をご覧ください。詳しい内容や申請様式は、市のホームページにも掲載しています。

### 市役所西分庁舎 市民・協働ステーションの利用について

地域交流センターの開館にともない、市役所西分庁舎にあります多目的活動室および作業コーナーの利用は、令和5年3月31日（金）をもって終了します。

【問合せ先】江南市役所 地方創生推進課 地域協働グループ

電話 0587-54-1111（内線323）

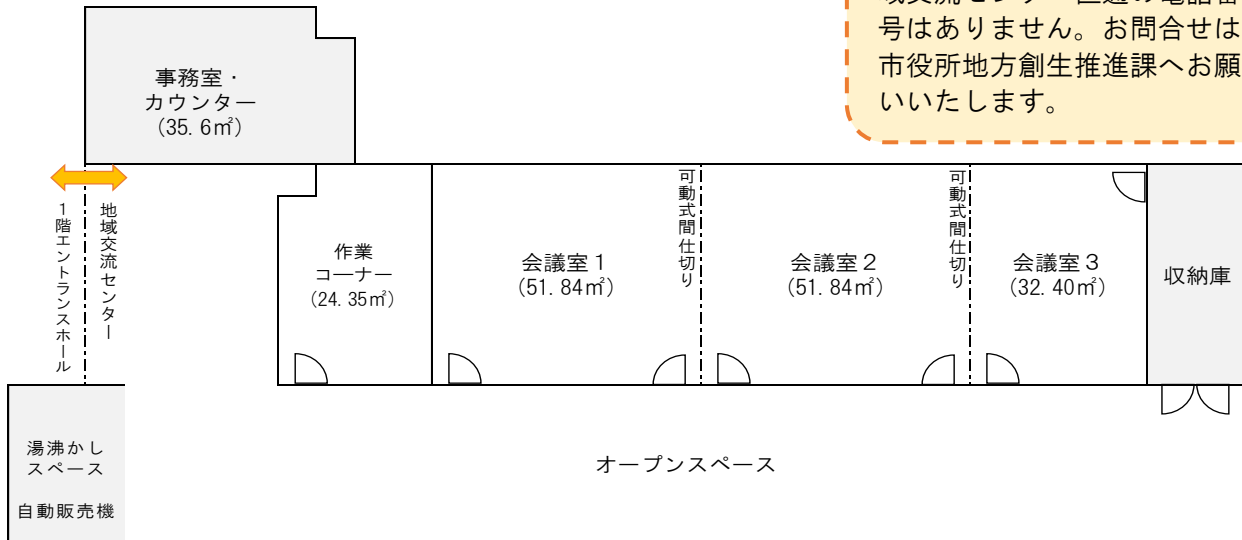
## 〈江南市地域交流センター 概要〉

所在地：江南市北山町西300番地（江南市布袋駅東複合公共施設1階フロア内）

開館時間：午前9時から午後9時30分まで

休館日：毎週木曜日（祝日の場合はその翌日）及び  
年末年始（12月29日～翌年1月4日）

現在、開館準備中のため、地域交流センター直通の電話番号はありません。お問合せは市役所地方創生推進課へお願いいたします。



## 〈使用料〉

### ◎ 会議室

区分	標準 利用人員	料金（※1）	
		2時間（※2）	2時間30分（※3）
会議室1	27名	320円	400円
会議室2	27名	320円	400円
会議室3	18名	210円	260円

※1 営利目的で利用するときは、上記表の4倍の料金となります。

※2、※3

利用時間には、準備及び原状回復の時間を含みます。  
利用時間の区分は、①9:00～11:00、②11:00～13:00、  
③13:00～15:00、④15:00～17:00、⑤17:00～19:00、  
⑥19:00～21:30の6区分があります。  
（①から⑤は2時間、⑥は2時間30分の料金となります）

※ 会議室を利用する場合、無料でプロジェクターを借りることができます（台数限定）。また、3室一体で利用する場合には、音響設備が利用できます。利用申込の際にお尋ねください。

### ◎ 作業コーナー

作業コーナーのご利用は、区・町内会及び登録のある市民活動団体に限ります。

区分	料金
印刷機	1製版につき50円 （用紙は持参してください）
コピー機	白黒（A3判以下） 1枚につき10円
	カラー（A3判以下） 1枚につき50円
大型コピー機	1枚につき200円
裁断機	無料
紙折り機	
丁合機	

## 〈予約について〉

### 【予約、申請、お問合せ先】

令和5年3月31日（金）まで … 市役所地方創生推進課

令和5年4月1日（土）以降 … 地域交流センター

※ 4月以降は予約先が変わります。併せて予約方法の変更を予定しています。内容が決まりましたら、広報や市ホームページ等であらためてご案内します。

### 【区・町内会 及び 市に登録のある市民活動団体の利用予約】

- ・ 令和4年12月1日（木）以降、4ヶ月先の日まで予約が可能です。
- ・ 予約は、開庁日において、地方創生推進課窓口（午前8時30分から午後5時まで）及び電話（午前9時から午後5時まで）で受け付けます。同時刻に申込があった場合は窓口を優先します。
- ・ 4ヶ月先にあたる利用希望日が重複した場合は、午前8時45分から抽選を行います。
- ・ 現在「市民・協働ステーション」に利用登録のある団体は、あらかじめ登録する必要はありません。

### 【一般の利用予約】

- ・ 令和5年1月5日（木）以降、3ヶ月先の日まで予約が可能です。
- ・ 予約は、開庁日において、地方創生推進課窓口（午前8時30分から午後5時まで）及び電話（午前9時から午後5時まで）で受け付けます。同時刻に申込があった場合は窓口を優先します。
- ・ 3ヶ月先にあたる利用希望日が重複した場合は、午前8時45分から抽選を行います。



ち い き

F O R U M

# 地域まちづくりフォーラム

これからの市民協働と市民活動によるまちづくりへの新たな一歩に向かう  
きっかけづくりをします。

「みんながつながり、支えあう」そんな地域づくりを考えるフォーラムです。

《日時》 令和5年3月19日(日) 午後1時～4時

《場所》 Home&nico ホール (江南市民文化会館)  
第1会議室

《募集人数》 30名 (事前申し込みが必要です。)

参加  
無料

## ★「地域まちづくり補助事業」公開報告会

江南市では、「地域のつながり」をつくり、地域の力を高める事業に補助金を交付する制度「地域まちづくり補助金」を整備し、地域のつながり作りを推進しています。

事業の成果(実施結果)からこれからの市民協働と市民活動によるまちづくりを考えます。

### ① 廃材活用プロジェクト

(Little good)

### ② 「みんな集まれ！」ふれあいまちづくり

(きらく会)

### ③ SDGs ワークショップで学ぼう！感じよう！考えよう！

(えこすく (ecology school))

### ④ 「こうなんこどもスイッチ」ワークショップ実施事業

(こうなんこどもスイッチ)

### ⑤ 地域とともに生きる「自分探しの旅」

(KONAN 子育て委員会)

### ⑥ 江南市ゆかりの歌と冊子とパネルを作りまちおこし

(まちづくり江南市民会議/一般社団法人江南青年会議所)



## ★地域まちづくりフォーラム「市民活動を続け、広げていくために」

ファシリテーター：一般社団法人 地域問題研究所

主席研究員 池田哲也さん

市民活動を長く続け、広げていくために、どのようなことが課題となり、その解決に向けてどのように取り組むか、ファシリテーターの話を交えながら、お互いに共有し、ともに考えていくことで、これから始めようとしている活動や、いま取り組んでいる活動の充実・継続・発展につながるヒントをひとつでも多く得る機会にします。